



Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony 機能のロードマップ

Revised: July 11, 2008

この章では、Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (Cisco Unified SRST) 機能のリストや機能に関する資料の場所を示します。

プラットフォームのサポートおよび Cisco IOS ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を参照するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には <http://www.cisco.com/go/fn> からアクセスできます。Cisco.com のアカウントが必要になります。アカウントを持っていない場合や、ユーザ名またはパスワードを忘れた場合は、ログイン ダイアログボックスで **Cancel** をクリックし、表示された指示に従います。

内容

- [マニュアルの構成 \(P.2\)](#)
- [機能のロードマップ \(P.4\)](#)
- [Cisco Unified SRST の新機能について \(P.8\)](#)

マニュアルの構成

このマニュアルは、表 1 に示す章または付録で構成されています。

表 1 Cisco Unified SRST の設定順序

| 章または付録 | 説明 |
|--|--|
| Cisco Unified SRST の概要 | <p>SRST の概要について説明します。この章には、次の項があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified SRST の説明 (P.26) • Cisco Unified IP Phone、プラットフォーム、Cisco Unified Communications Manager、信号、言語、およびスイッチのサポート (P.30) • Cisco Unified SRST を設定する場合の前提条件 (P.34) • Cisco Unified SRST を設定する場合の制約事項 (P.37) • その他の資料 (P.40) |
| ネットワークの設定 | <p>Cisco Unified SRST システムがネットワークと通信するように設定する方法について説明します。この章には、次の作業が含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IP ルーティングの有効化 (P.46) • Cisco Unified SRST Phone に対する DHCP の設定 (P.51) • キープアライブインターバルの指定 (P.54) • 電話機能をサポートするための Cisco Unified SRST の設定 (P.55) • Cisco Unified SRST が有効になっていることの確認 (P.57) |
| Cisco Unified IP Phone の設定 | <p>Cisco Unified SRST Phone の基本的な設定方法について説明します。この章には、次の作業が含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IP Phone のクロック、日付、および時刻の形式の設定 (P.62) • IP Phone の言語表示の設定 (P.63) • Cisco Unified IP Phone 用にカスタマイズされたシステム メッセージの設定 (P.65) • 第 2 発信音の設定 (P.66) • 二重回線電話機の設定 (P.66) |
| コール処理の設定 | <p>着信コールと発信コールの設定方法について説明します。この章には、次の作業が含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 着信コールの設定 (P.74) • 発信コールの設定 (P.92) |
| 追加のコール機能の設定 | <p>オプションのシステム パラメータと電話パラメータの設定方法について説明します。この章には、次の作業が含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3 者間 G.711 Ad Hoc 会議の有効化 (P.112) • XML API スキーマの定義 (P.113) |
| Cisco Unified SRST をマルチキャスト MOH リソースとして使用するための Cisco Unified Communications Manager と Cisco Unified SRST の統合 | <p>マルチキャスト Music-On-Hold (MOH) を有効にするように Cisco Unified Communications Manager および Cisco Unified SRST を設定する方法について説明します。この章には、次の作業が含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified SRST マルチキャスト MOH 用の Cisco Unified Communications Manager の設定 (P.123) • マルチキャスト MOH 用の Cisco Unified SRST の設定 (P.133) • Cisco Unified SRST MOH ライブフィードサポートの設定 (オプション) (P.142) |

表 1 Cisco Unified SRST の設定順序 (続き)

| 章または付録 | 説明 |
|--|--|
| Secure SRST の設定 | <p>SRST モードにおける Cisco IOS MGCP ゲートウェイ用の Media and Signaling Authentication and Encryption 機能について説明します。この章には、次の作業が含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 安全に通信を行うための Cisco Unified SRST ルータの準備 (P.160) • Secure SRST ルータへの電話機の証明書ファイル (PEM 形式) のインポート (P.169) • Secure Cisco Unified SRST ルータへの Cisco Unified Communications Manager の設定 (P.176) • Secure Cisco Unified SRST ルータでの SRST モードの有効化 (P.180) • 電話機のステータスおよび登録の確認 (P.182) |
| Cisco Unified SRST へのボイスメールの統合 | <p>ボイスメールの設定方法について説明します。この章には、次の作業が含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ボイスメールへのダイレクトアクセスの設定 (P.196) • メッセージ ボタンの設定 (P.199) • Cisco Unified Communications Manager ゲートウェイへのリダイレクト (P.201) • ボイスメールへのコール転送の設定 (P.201) |
| Cisco Unified SRST の監視と保守 | <p>Cisco Unified SRST の監視と保守に有用な show コマンドのリストを示します。</p> |
| E911 サービス | <p>新しい E911 サービス機能について説明します。</p> |
| 付録 A : SIP 用の Cisco Unified SRST サポートの準備 | <p>SIP コールをサポートするための特殊な設定について説明します。</p> |

機能のロードマップ

表 2 に、Cisco Unified SRST 機能の履歴の要約を示します。

表 2 Cisco Unified SRST ソフトウェア バージョン別の機能

| Cisco Unified SRST | 機能拡張または変更内容 |
|--------------------|--|
| バージョン 7.0/4.3 | <ul style="list-style-type: none"> 各ボタンでの 8 回線（八重回線）の設定 (P.68) 打診転送の設定 (P.81) |
| バージョン 4.2(1) | <p>P.229 の「E911 サービス」に、次の新機能が追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ゾーンへの ERL の割り当てによる、発信者に最も近い PSAP へのルーティングの有効化 E911 のカスタマイズ（デフォルト ELIN の定義、コールバック時に 911 発信者に到達できない場合の指定番号の設定、Last Caller テーブル内のデータの有効期限の指定、およびすべての緊急コールを通知する syslog メッセージの有効化） E911 ロケーション情報の拡張による名前およびアドレスの追加 新しい永続的な呼詳細レコードの追加 |
| バージョン 4.1 | E911 サービス (P.229) |
| バージョン 4.0 | <ul style="list-style-type: none"> Cisco Unified IP Phone の追加サポート (P.8) (Cisco Unified IP Phone 7960G、7911G、7941G-GE、および 7961G-GE) Cisco IP Communicator のサポート (P.9) SCCP および ATA サポートを使用した FAX パススルー (P.9) WAN リンク障害に対する H.323 VoIP コールプリザベーションの機能拡張 (P.10) ビデオ サポート (P.10) |
| バージョン 3.4 | <ul style="list-style-type: none"> Cisco SIP SRST 3.4 (P.10) |
| バージョン 3.3 | <ul style="list-style-type: none"> Secure SRST (P.11) Cisco Unified IP Phone 7970G および Cisco Unified 7971G-GE のサポート (P.11) show ephone コマンドの機能拡張 (P.11) |
| バージョン 3.2 | <ul style="list-style-type: none"> alias コマンドの機能拡張 (P.12) pickup コマンドの機能拡張 (P.12) user-locale コマンドの機能拡張 (P.12) user-locale コマンドの機能拡張 (P.12) Cisco 3845 でサポートされる Cisco Unified IP Phone の台数の増加 (P.13) MOH ライブフィードのサポート (P.13) コールプリザベーションのタイムアウトなし (P.13) RFC 2833 DTMF リレーのサポート (P.13) 変換プロファイルのサポート (P.13) |
| バージョン 3.1 | <ul style="list-style-type: none"> Cisco Unified IP Phone 7920 のサポート (P.14) Cisco Unified IP Phone 7936 のサポート (P.14) |

表 2 Cisco Unified SRST ソフトウェア バージョン別の機能 (続き)

| Cisco Unified SRST | 機能拡張または変更内容 |
|--------------------|--|
| バージョン 3.0 | <ul style="list-style-type: none"> IP Phone のディスプレイに対する追加の言語オプション (P.15) H.450.2 および H.450.3 を使用した打診コール転送および自動転送 (P.15) Cisco Unified IP Phone 用にカスタマイズされたシステム メッセージ (P.16) 二重回線モード (P.16) E1 R2 シグナリングのサポート (P.16) 欧州の日付形式 (P.17) 二重回線モードのハントストップ (P.17) フラッシュ ファイルからのマルチキャスト用の Music On Hold (P.17) 呼び出しタイムアウトのデフォルト (P.18) 第 2 発信音 (P.18) show ephone コマンドの機能拡張 (P.18) 電話機の登録に関するシステム ログ メッセージ (P.18) 3 者間の G.711 Ad Hoc 会議 (P.18) Cisco VG248 Analog Phone Gateway バージョン 1.2(1) 以降のバージョンのサポート (P.18) |
| バージョン 2.1 | <ul style="list-style-type: none"> Cisco Unified IP Phone 7902G のサポート (P.20) Cisco Unified IP Phone 7912G のサポート (P.20) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> IP Phone のディスプレイに対する追加の言語オプション (P.19) Cisco SRST の集約 (P.20) Cisco ATA 186 および ATA 188 のサポート (P.20) Cisco Unified IP Phone 7905G のサポート (P.20) Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュールのサポート (P.21) dialplan-pattern コマンドの機能拡張 (P.21) |
| バージョン 2.02 | <ul style="list-style-type: none"> Cisco Unified IP Phone Conference Station 7935 のサポート (P.21) 電話番号の増加 (P.22) PSTN および BRI/PRI を介してインバンド DTMF シグナリングを使用した Cisco Unity ボイスメール統合 (P.22) Cisco Unified SRST が Cisco Catalyst 4500 アクセス ゲートウェイ モジュールおよび Cisco 7200 ルータ (NPE-225、NPE-300、および NPE400) に実装されました。 Cisco MC3810-V3 コンセントレータがサポートされなくなりました。 |
| バージョン 2.01 | <ul style="list-style-type: none"> Cisco Unified SRST が Cisco 1760 ルータに実装されました。また、Cisco 1750 がサポートされなくなりました。 接続側の Cisco IP Phone のサポートが追加されました。 Cisco IP Phone の電話番号または仮想音声ポートのサポートが追加されました。 |

表 2 Cisco Unified SRST ソフトウェア バージョン別の機能 (続き)

| Cisco Unified SRST | 機能拡張または変更内容 |
|--------------------|--|
| バージョン 2.0 | <p data-bbox="671 306 1479 376">Cisco Unified SRST が Cisco 2600XM および Cisco 2691 ルータに実装されました。</p> <p data-bbox="671 383 1479 495">Cisco Unified SRST が Cisco IOS Release 12.2(8)T に統合され、Cisco 3725 および Cisco 3745 ルータと Cisco MC3810-V3 コンセントレータに実装されました。</p> <ul data-bbox="671 501 1479 1059" style="list-style-type: none"> • Cisco Unified SRST が Cisco 1750 および Cisco 1751 ルータに実装されました。 • ハントストップのサポート。 • Class Of Restriction (COR; 制限クラス)。 • 変換規則のサポート。 • Music On Hold (MOH) と保留時のトーン。 • 固有の呼び出し音。 • Cisco Unified Communications Manager のフォールバック時における PSTN を介したセントラル ボイスメールまたは Auto-Attendant (AA) への自動転送。 • Cisco Unified Communications Manager のフォールバック時における電話番号エイリアスのサポート：デフォルトの宛先サポートの拡張。 • Cisco Unified Communications Manager のフォールバック時におけるリストベースのコール制限。 |

表 2 Cisco Unified SRST ソフトウェア バージョン別の機能 (続き)

| Cisco Unified SRST | 機能拡張または変更内容 |
|--------------------|---|
| バージョン 1.0 | <p data-bbox="675 304 1463 371">Cisco 3660 マルチサービス ルータで 144 台の Cisco IP Phone がサポートされるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="675 383 1463 483">• Cisco Unified SRST が、Cisco 2600 シリーズおよび Cisco 3600 シリーズ マルチサービス ルータと、Cisco IAD2420 シリーズ統合型 アクセス装置に導入されました。 <li data-bbox="675 495 1463 595">• Cisco Unified Communications Manager への WAN リンクに障害が発生した場合に Cisco IP Phone から SRST ルータに接続できるようになりました。 <li data-bbox="675 607 1463 674">• Cisco Unified SRST の動作中、サポートされない Cisco Unified IP Phone の機能キーはすべてグレー表示されるようになりました。 <li data-bbox="675 685 906 707">• 内線間ダイヤル。 <li data-bbox="675 719 1257 752">• Direct Inward Dialing (DID; ダイヤルイン方式)。 <li data-bbox="675 763 1310 797">• Direct Outward Dialing (DOD; ダイヤルアウト方式)。 <li data-bbox="675 808 1114 842">• 発信側 ID (Caller ID/ANI) の表示。 <li data-bbox="675 853 1114 887">• 最後にかけた番号へのリダイヤル。 <li data-bbox="675 898 1463 931">• WAN リンクの障害時におけるローカルでの内線間コールの保持。 <li data-bbox="675 943 1463 1010">• WAN リンクの障害時におけるローカルでの内線と PSTN 間のコールの保持。 <li data-bbox="675 1021 1463 1088">• 障害が発生した WAN リンクの再確立時における進行中のコールの保持。 <li data-bbox="675 1099 1294 1133">• IP ネットワークにおけるコールのブラインド転送。 <li data-bbox="675 1144 1070 1178">• Cisco IP Phone ごとの複数回線。 <li data-bbox="675 1189 1062 1223">• 電話機全体での複数回線通話。 <li data-bbox="675 1234 983 1267">• コール保留 (共有回線) <li data-bbox="675 1279 1463 1346">• アナログ Foreign Exchange Station (FXS) および Foreign Exchange Office (FXO) ポート。 <li data-bbox="675 1357 1031 1391">• EuroISDN の BRI サポート。 <li data-bbox="675 1402 1166 1435">• NET5 スイッチ タイプの PRI サポート。 |

Cisco Unified SRST の新機能について

ここでは、次の内容について説明します。

- [Cisco Unified SRST V4.3/7.0 の新機能 \(P.8\)](#)
- [Cisco Unified SRST V4.2\(1\) の新機能 \(P.8\)](#)
- [Cisco Unified SRST V4.1 の新機能 \(P.8\)](#)
- [Cisco Unified SRST V4.0 の新機能 \(P.8\)](#)
- [Cisco SRST V3.4 の新機能 \(P.10\)](#)
- [Cisco SRST V3.3 の新機能 \(P.10\)](#)
- [Cisco SRST V3.2 の新機能 \(P.12\)](#)
- [Cisco SRST V3.1 の新機能 \(P.14\)](#)
- [Cisco SRST V3.0 の新機能 \(P.14\)](#)
- [Cisco SRST V2.1 の新機能 \(P.19\)](#)
- [Cisco SRST V2.02 の新機能 \(P.21\)](#)

Cisco Unified SRST V4.3/7.0 の新機能

Cisco Unified SRST 7.0/4.3 では、次の新機能がサポートされています。

- [各ボタンでの 8 回線 \(八重回線\) の設定 \(P.68\)](#)
- [打診転送の設定 \(P.81\)](#)

Cisco Unified SRST V4.2(1) の新機能

Cisco Unified SRST バージョン 4.2(1) には、次の新機能が導入されています。

- [E911 サービス \(P.229\)](#) の機能拡張

Cisco Unified SRST V4.1 の新機能

Cisco Unified SRST バージョン 4.1 には、次の新機能が導入されています。

- [E911 サービス \(P.229\)](#)

Cisco Unified SRST V4.0 の新機能

Cisco Unified SRST バージョン 4.0 には、次の新機能が導入されています。

- [Cisco Unified IP Phone](#) の追加サポート (P.8)
- [Cisco IP Communicator](#) のサポート (P.9)
- [SCCP および ATA サポートを使用した FAX パススルー \(P.9\)](#)
- [WAN リンク障害に対する H.323 VoIP コールプリザベーションの機能拡張 \(P.10\)](#)
- [ビデオサポート \(P.10\)](#)

Cisco Unified IP Phone の追加サポート

Cisco Unified SRST システムでは、次の IP Phone がサポートされるようになりました。

- Cisco Unified IP Phone 7911G
- Cisco Unified IP Phone 7941G および Cisco Unified IP Phone 7941G-GE

- Cisco Unified IP Phone 7960G
- Cisco Unified IP Phone 7961G および Cisco Unified IP Phone 7961G-GE

また、Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュールを Cisco 7941G-GE および Cisco 7961G-GE に接続できるようになりました。Cisco 7914 拡張モジュールは新機能を備えており、たとえば、電話機に 14 のラインアピランスまたは短縮ダイヤル番号を追加します。IP Phone には拡張モジュールを 2 つまで接続できます。拡張モジュールを 2 つ使用すると、28 のラインアピランスまたは短縮ダイヤル番号が追加され、合計で 34 のラインアピランスまたは短縮ダイヤル番号が使用可能になります。詳細については、『[Cisco IP Phone 7914 Expansion Module Quick Start Guide](#)』を参照してください。このドキュメントは、次の URL から入手可能です。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cuipph/7916/english/16enug.pdf

これらの電話機に対して追加の SRST 設定を行う必要はありません。

show ephone コマンドは、SRST バージョン 4.0 に追加された新しい Cisco IP Phone の設定およびステータスを表示するように拡張されています。詳細については、『[Cisco Unified SRST and Cisco Unified SIP SRST Command Reference \(All Versions\)](#)』に記載されている **show ephone** コマンドを参照してください。このドキュメントは、次の URL から入手可能です。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cusrst/command/reference/srster.html

Cisco Unified SRST 4.0 に関連する、互換性のあるファームウェア、プラットフォーム、メモリ、および追加の音声製品を確認するには、次のマニュアルを参照してください。

『[Cisco Unified SRST 4.3 Supported Firmware, Platforms, Memory, and Voice Products](#)』 (このドキュメントは、次の URL から入手可能です)

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cusrst/requirements/guide/srs43spc.html

Cisco IP Communicator のサポート

Cisco IP Communicator は、パーソナル コンピュータでのテレフォニー サポートを拡張するソフトウェアベースのアプリケーションです。この SCCP ベースのアプリケーションを使用すると、コンピュータを IP Phone として機能させることができます。その結果、出先やオフィスなど、ユーザが企業ネットワークにアクセスできる場所であればどこからでも高品質の音声コールを利用できるようになります。Cisco IP Communicator は、カラー画面、キーパッド、機能ボタン、およびソフトウェアを備えたグラフィカルな表示ベースの IP Phone として、ユーザのコンピュータ画面に表示されます。

SCCP および ATA サポートを使用した FAX パススルー

Cisco VG 224 音声ゲートウェイ、Analog Telephone Adaptor (ATA; アナログ電話アダプタ)、および SCCP を使用した FAX パススルー モードがサポートされました。ATA は SIP ファームウェアに付属しています。そのため、この機能を使用するには SCCP ファームウェアをロードする必要があります。



(注)

Cisco Unified SRST システムに登録されている ATA が FAX コールに参加できるようにするには、FAX パススルー モードで RTP ペイロードタイプとして「標準のペイロードタイプ 0/8」を使用するように、ATA の ConnectMode パラメータを設定する必要があります。Cisco Unified SRST 4.0 以降のバージョンで使用する ATA に対してこのように設定するには、ATA において ConnectMode パラメータのビット 2 を 1 に設定します。詳細については、『[Cisco ATA 186 and Cisco ATA 188 Analog Telephone Adaptor Administrator's Guide for SCCP](#)』の「Parameters and Defaults」の章を参照してください。このドキュメントは、次の URL から入手可能です。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cata/186_188/2_15_ms/english/administration/guide/sccp/sccpach5.html

WAN リンク障害に対する H.323 VoIP コール プリザベーションの機能拡張

WAN リンク障害に対する H.323 VoIP コール プリザベーションの機能拡張では、Cisco Unified Communications Manager などのエンティティによってシグナリングが処理される H.323 トポロジの接続が保持されるようになりました。このエンティティは、2 つの接続側の間でシグナリングを行う相手方エンドポイントおよびブローカとは異なります。

コール プリザベーションが有用になるのは、ゲートウェイと相手方エンドポイント（通常は Cisco Unified IP Phone）が同じサイトに配置され、コール エージェントがリモート側に配置されているために、接続障害の発生する確率が高くなっている場合です。

詳細については、『[Cisco IOS H.323 Configuration Guide, Release 12.4T](#)』の「Configuring H.323 Gateways」の章を参照してください。

ビデオ サポート

この機能を使用すると、Cisco Unified SRST が Cisco Unified Communications Manager と同等の機能を保持するように、ビデオ パラメータを設定できます。Cisco Unified SRST が有効になっている場合、ビデオ機能に関して Cisco Unified IP Phone を再設定する必要はありません。これは、すべての ephone が、Cisco Unified Communications Manager に対して使用される同一の設定を保持するためです。ただし、call-manager-fallback コンフィギュレーション モードを開始して、Cisco Unified SRST のビデオ パラメータを設定する必要があります。ビデオ用の機能セットは、Cisco Unified SRST オーディオ コールの場合と同じです。

詳細については、[P.211](#) の「ビデオ パラメータの設定」を参照してください。

Cisco SRST V3.4 の新機能

Cisco SRST V3.4 には、次の項で説明する新機能が導入されています。

- [Cisco SIP SRST 3.4](#)

Cisco SIP SRST 3.4

Cisco SIP SRST バージョン 3.4 では、Session Initiation Protocol (SIP) ネットワークの SRST 機能について説明します。Cisco SIP SRST バージョン 3.4 は、基本的なレジストラ サービスと Back-To-Back User Agent (B2BUA; バックツーバック ユーザ エージェント) サービスを提供して、外部の SIP プロキシ サーバへのバックアップを行います。このサービスは、WAN 接続が停止して SIP IP Phone がプライマリ SIP プロキシと通信できなくなった場合に、その SIP 電話機によって使用されます。

Cisco SIP SRST バージョン 3.4 では、ローカルおよび SIP WAN ネットワーク全体で、標準の RFC 3261 機能サポートに基づいて SIP 電話機をサポートすることができます。Cisco SIP SRST バージョン 3.4 を使用すると、Skinny Client Control Protocol (SCCP) 電話機と同じ方法で、SIP 電話機から SIP ネットワークを介してコールを発信できます。SIP SRST バージョン 3.4 の詳細については、『[Cisco SIP SRST Version 3.4 System Administrator Guide](#)』を参照してください。

Cisco SRST V3.3 の新機能

Cisco SRST V3.3 には、次の項で説明する新機能が導入されています。

- [Secure SRST \(P.11\)](#)
- [Cisco Unified IP Phone 7970G および Cisco Unified 7971G-GE のサポート \(P.11\)](#)
- [show ephone コマンドの機能拡張 \(P.11\)](#)

Secure SRST

リモートサイトに配置され、ゲートウェイルータに接続されている安全な Cisco IP Phone は、WAN を使用して Cisco Unified Communications Manager と安全に通信することができます。ただし、WAN リンクまたは Cisco Unified Communications Manager がダウンした場合、リモート電話機からの通信はすべて保護されていない状態になります。この状況に対処するために、ゲートウェイルータは Secure SRST モードで機能できるようになっています。このモードは、WAN リンクまたは Cisco Unified Communications Manager がダウンした場合にアクティブになります。WAN リンクまたは Cisco Unified Communications Manager が回復すると、Cisco Unified Communications Manager は、安全なコール処理機能を再開します。

Secure SRST は、認証、保全性、およびメディア暗号化など、新しい SRST セキュリティ機能を提供します。認証は、ユーザに対して、通話相手の身元が正しいことを保証します。保全性は、特定のデータがエンティティ間で変更されていないことを保証します。暗号化は機密性を意味します。つまり、対象となる受信者以外の人はデータを読み取れないということです。これらのセキュリティ機能を使用すると、SRST 音声コールのプライバシーが確保され、音声のセキュリティ侵害や ID 盗難から保護されます。詳細については、P.151 の「Secure SRST の設定」を参照してください。

Cisco Unified IP Phone 7970G および Cisco Unified 7971G-GE のサポート

Cisco Unified IP Phone 7970G および 7971G-GE は、IP ネットワークを介して音声通信を行うフル装備の電話機です。これらの電話機は従来のアナログ電話機と同じように機能するため、電話コールの発信と受信のほか、消音、保留、コール転送、短縮ダイヤル、および自動転送などの機能を利用できます。また、データ ネットワークに接続されるため、拡張 IP テレフォニー機能を利用して、たとえば、ネットワーク情報およびサービスのほか、カスタマイズ可能な機能およびサービスにアクセスすることができます。さらに、ファイル認証、デバイス認証、シグナリング暗号化、およびメディア暗号化などのセキュリティ機能もサポートしています。

Cisco Unified IP Phone 7970G および 7971G-GE は、また、カラー タッチスクリーン、最大 8 つの回線番号または短縮ダイヤル番号のサポート、およびボタンや機能に関する文脈依存オンラインヘルプなど、各種の高度な機能を備えています。SRST に固有の設定を行う必要はありません。

詳細については、[Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ マニュアル](#)を参照してください。



(注) Cisco Unified IP Phone 7970G および 7971G-GE には、Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュールを接続できます。詳細については、P.21 の「[Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュールのサポート](#)」を参照してください。

show ephone コマンドの機能拡張

`show ephone` コマンドは、Cisco Unified IP Phone 7970G および Cisco Unified IP Phone 7971G-GE の設定およびステータスを表示するように拡張されています。詳細については、『[Cisco Unified SRST and Cisco Unified SIP SRST Command Reference \(All Versions\)](#)』に記載されている `show ephone` コマンドを参照してください。このドキュメントは、次の URL から入手可能です。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cusrst/command/reference/srster.html

Cisco SRST V3.2 の新機能

Cisco SRST V3.2 には、次の項で説明する新機能が導入されています。

- **alias** コマンドの機能拡張 (P.12)
- **cor** コマンドの機能拡張 (P.12)
- **pickup** コマンドの機能拡張 (P.12)
- **user-locale** コマンドの機能拡張 (P.12)
- Cisco 3845 でサポートされる Cisco Unified IP Phone の台数の増加 (P.13)
- MOH ライブ フィードのサポート (P.13)
- コールプリザベーションのタイムアウトなし (P.13)
- RFC 2833 DTMF リレーのサポート (P.13)
- 変換プロファイルのサポート (P.13)

alias コマンドの機能拡張

alias コマンドは、次のように拡張されています。

- **cfw** キーワードが追加されました。このキーワードは、無応答時または話中時の自動転送機能を提供します。
- Cisco Unified Communications Manager のフォールバック時に使用不能になる電話番号へのコールを作成するために使用される **alias** コマンドの最大数が 50 に増えました。
- 複数の **alias** コマンドで *alternate-number* 引数を使用できるようになりました。

詳細については、『*Cisco Unified SRST and Cisco Unified SIP SRST Command Reference (All Versions)*』に記載されている **alias** コマンドを参照してください。このドキュメントは、次の URL から入手可能です。http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cusrst/command/reference/srstcr.html

cor コマンドの機能拡張

cor リストの最大数が 20 に増えました。

詳細については、『*Cisco Unified SRST and Cisco Unified SIP SRST Command Reference (All Versions)*』に記載されている **cor** コマンドを参照してください。このドキュメントは、次の URL から入手可能です。http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cusrst/command/reference/srstcr.html

pickup コマンドの機能拡張

pickup コマンドは、すべての Cisco Unified IP Phone で PickUp ソフトキーを有効にするために導入されています。このソフトキーを使用すると、SRST の動作中に、特定の外線番号に着信した外部のダイヤルイン (DID) コールを別の外線番号からピックアップできます。

詳細については、『*Cisco Unified SRST and Cisco Unified SIP SRST Command Reference (All Versions)*』に記載されている **pickup** コマンドを参照してください。このドキュメントは、次の URL から入手可能です。http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cusrst/command/reference/srstcr.html

user-locale コマンドの機能拡張

user-locale コマンドは、日本語のカタカナ国コードを表示するために導入されています。日本語のカタカナは、Cisco Unified Communications Manager V4.0 以降のバージョンで使用できます。

詳細については、『[Cisco Unified SRST and Cisco Unified SIP SRST Command Reference \(All Versions\)](#)』に記載されている **user-locale** コマンドを参照してください。このドキュメントは、次の URL から入手可能です。http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cusrst/command/reference/srstcr.html

Cisco 3845 でサポートされる Cisco Unified IP Phone の台数の増加

Cisco 3845 では、720 台の電話機と最大 960 の ephone-dn または仮想音声ポートがサポートされるようになりました。詳細については、『[Cisco IOS Survivable Remote Site Telephony \(SRST\) 3.2 Specifications for Cisco IOS Software Release 12.3\(11\)T](#)』を参照してください。

MOH ライブ フィードのサポート

Cisco Unified SRST には、機能拡張として新しい **moh-live** コマンドが追加されました。**moh-live** コマンドは、E&M または FXO ポートに接続されたオーディオ デバイスから SRST モードの Cisco IP Phone に対して、ライブ フィード MOH ストリームを提供します。ライブ フィードに FXO ポートを使用する場合、ポートには、バッテリー供給を行う外部のサードパーティ製アダプタを接続する必要があります。ライブ フィードの音楽は、フラッシュ ファイルから読み込まれるのではなく、固定のソースから取得され、MOH 再生バッファに連続的に送られます。ライブ フィード MOH は、Cisco IP Phone に対してマルチキャストを行うこともできます。設定手順については、[P.115](#) の「[Cisco Unified SRST をマルチキャスト MOH リソースとして使用するための Cisco Unified Communications Manager と Cisco Unified SRST の統合](#)」を参照してください。

コール プリザベーションのタイムアウトなし

停止時にブランチで既存の H.323 コールが保持されるようにするには、**no h225 timeout keepalive** コマンドを入力して、H.225 キープアライブ タイマーを無効にします。この機能は、Cisco IOS Release 12.3(7)T1 以降のバージョンでサポートされています。詳細については、[P.26](#) の「[Cisco Unified SRST の説明](#)」を参照してください。

RFC 2833 DTMF リレーのサポート

Cisco Skinny Client Control Protocol (SCCP) 電話機 (Cisco SRST システムで使用される電話機など) は、アウトオブバンド DTMF デジタル表示だけをサポートします。SCCP 電話機からリモートの SIP ベース IVR アプリケーションおよびボイスメール アプリケーションにデジタル情報を送信できるようにするには、Cisco SRST 3.2 以降のバージョンで、アウトオブバンド SCCP デジタル表示から DTMF リレー用 SIP 標準 (RFC 2833) への変換を行います。この方法を SIP VoIP ダイアル ピアで選択するには、**dtmf-relay rtp-nte** コマンドを使用します。設定手順については、[P.265](#) の「[付録 A : SIP 用の Cisco Unified SRST サポートの準備](#)」を参照してください。

Cisco Unity Express システムに接続している SIP ネットワーク上のボイスメールを使用するには、非標準の SIP Notify 形式を使用します。Notify 形式を設定するには、**dtmf-relay** コマンドで **sip-notify** キーワードを使用します。**sip-notify** キーワードの使用は、Cisco SRST 3.0 および 3.1 との下位互換性のために必要になる場合があります。

変換プロファイルのサポート

Cisco SRST 3.2 以降のバージョンは、変換プロファイルをサポートしています。変換プロファイルを使用すると、変換規則をグループ化して、次の要素と関連付けることができます。

- 着信番号
- 発信番号

- リダイレクトされる着信番号

設定の詳細については、P.86 の「変換プロファイルの有効化」を参照してください。

translation-profile コマンドの詳細については、『*Cisco Unified SRST and Cisco Unified SIP SRST Command Reference (All Versions)*』を参照してください。このドキュメントは、次の URL から入手可能です。 http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cusrst/command/reference/srstcr.html

Cisco SRST V3.1 の新機能

Cisco SRST V3.1 には、次の項で説明する新機能が導入されています。

- [Cisco Unified IP Phone 7920 のサポート \(P.14\)](#)
- [Cisco Unified IP Phone 7936 のサポート \(P.14\)](#)



(注)

Cisco Unified IP Phone については、[Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ マニュアル](#)を参照してください。

Cisco Unified IP Phone 7920 のサポート

Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 は、使いやすい IEEE 802.11b 準拠の無線 IP Phone で、Cisco Unified Communications Manager および Cisco Aironet 1200、1100、350、340 シリーズの Wi-Fi (IEEE 802.11b) アクセス ポイントと連携して、総合的な音声通信を実現します。この電話機は、Cisco AVVID Wireless Solution の主要部分として、エンドツーエンドの Cisco ネットワークを介して、セキュリティ、モビリティ、QoS (Quality Of Service)、および管理などのシームレスなインテリジェント サービスを提供します。

設定を行う必要はありません。

Cisco Unified IP Phone 7936 のサポート

Cisco Unified IP Conference Station 7936 は、VoIP テクノロジーを使用した IP ベースでハンドフリーの電話会議用端末です。IP Conference Station は、従来のアナログ会議装置に置き換わるもので、IP ネットワークを介してビジネス会議機能（コール保留、コール再開、コール転送、コール リリース、リダイヤル、消音、および会議など）を提供します。

設定を行う必要はありません。

Cisco SRST V3.0 の新機能

Cisco SRST V3.0 には、次の項で説明する新機能が導入されています。

- [IP Phone のディスプレイに対する追加の言語オプション \(P.15\)](#)
- [H.450.2 および H.450.3 を使用した打診コール転送および自動転送 \(P.15\)](#)
- [Cisco Unified IP Phone 用にカスタマイズされたシステム メッセージ \(P.16\)](#)
- [二重回線モード \(P.16\)](#)
- [E1 R2 シグナリングのサポート \(P.16\)](#)
- [欧州の日付形式 \(P.17\)](#)
- [二重回線モードのハントストップ \(P.17\)](#)
- [フラッシュ ファイルからのマルチキャスト用の Music On Hold \(P.17\)](#)
- [呼び出しタイムアウトのデフォルト \(P.18\)](#)

- 第 2 発信音 (P.18)
- show ephone コマンドの機能拡張 (P.18)
- 電話機の登録に関するシステム ログ メッセージ (P.18)
- 3 者間の G.711 Ad Hoc 会議 (P.18)
- Cisco VG248 Analog Phone Gateway バージョン 1.2(1) 以降のバージョンのサポート (P.18)

IP Phone のディスプレイに対する追加の言語オプション

Cisco Unified IP Phone 7940G および Cisco Unified IP Phone 7960G のディスプレイには、ドイツ語、デンマーク語、スペイン語、フランス語、イタリア語、日本語、オランダ語、ノルウェー語、ポルトガル語、ロシア語、スウェーデン語、および英語に対応する追加の ISO-3166 コードを設定できます。



(注)

この機能が使用可能になるのは、Cisco SRST が Cisco Unified Communications Manager V3.2 の下で動作している場合のみです。

H.450.2 および H.450.3 を使用した打診コール転送および自動転送

Cisco SRST V1.0、Cisco SRST V2.0、および Cisco SRST V2.1 を使用すると、ブラインド コール転送および自動転送を行うことができます。ブラインド コールでは、コール転送元および自動転送元は、転送先に対して通知または打診を行うことはできません。これら 3 つのバージョンの Cisco SRST は、Cisco SRST 独自のメカニズムを使用して、ブラインド転送を実行します。Cisco SRST V3.0 には、ITU-T H.450.2 (H.450.2) 標準を使用した打診によるコール転送と、ITU-T H.450.3 (H.450.3) 標準を使用した自動転送を H.323 コールに対して実行する機能が追加されています。

Cisco SRST V3.0 では、IP Phone でデフォルト セッション アプリケーションを使用して、H.450.2 および H.450.3 を使用したコール転送および自動転送を開始することがサポートされています。デフォルト セッション アプリケーションによって提供される組み込みの H.450.2 および H.450.3 サポートは、PSTN インターフェイスのタイプに関係なく、IP Phone で開始されるコール転送および自動転送に適用されます。

打診転送を使用できるようにするには、Cisco SRST ルータに二重回線モードを設定する必要があります。P.66 の「二重回線電話機の設定」を参照してください。



(注)

VoIP ネットワーク内の音声ゲートウェイ ルータはすべて、H.450 をサポートしている必要があります。H.450 をサポートする場合、Cisco SRST を使用するルータでは、Cisco SRST V3.0 以降のバージョンまたは Cisco IOS Release 12.2(15)ZJ 以降のリリースを実行する必要があります。Cisco SRST を使用しないルータでは、Cisco SRST V2.1 以降のバージョンまたは Cisco IOS Release 12.2(11)YT 以降のリリースを実行する必要があります。

デフォルト セッション アプリケーションの詳細については、『[Default Session Application Enhancements](#)』を参照してください。

設定については、P.93 の「Cisco SRST 3.0 での H.450.2 および H.450.3 を使用した打診コール転送および自動転送」を参照してください。

Cisco Unified IP Phone 用にカスタマイズされたシステム メッセージ

フォールバック モードの Cisco Unified IP Phone 7905G、Cisco Unified IP Phone 7940G、Cisco Unified IP Phone 7960G、および Cisco Unified IP Phone 7910 ユニットに表示されるディスプレイ メッセージは、カスタマイズできます。新しい `system message` コマンドを使用すると、このディスプレイ メッセージをルータごとに編集できます。カスタム システム メッセージ機能では、英語だけがサポートされています。

詳細については、P.65 の「Cisco Unified IP Phone 用にカスタマイズされたシステム メッセージの設定」を参照してください。

二重回線モード

`max-dn` コマンドに追加された新しいキーワードを使用すると、IP Phone を二重回線モードに設定できます。二重回線 IP Phone はそれぞれ、1 つの音声ポートと、2 つの独立したコールを処理する 2 つのチャンネルを備えている必要があります。このモードでは、1 つの `ephone-dn` (`ephone` の電話番号) で、コール ウェイティング、コール転送、および会議の各機能を使用できます。Cisco SRST フォールバック時に使用できる DN の数には上限があります。`max-dn` コマンドは、Cisco SRST ルータ上のすべての IP Phone に影響します。

設定については、P.66 の「二重回線電話機の設定」を参照してください。

E1 R2 シグナリングのサポート

Cisco SRST V3.0 は、E1 R2 シグナリングをサポートしています。R2 シグナリングは、チャンネル化 E1 ネットワークに共通の国際的なシグナリング標準です。ただし、R2 に関する単一のシグナリング標準はありません。R2 は ITU-T Q.400-Q.490 勧告で定義されていますが、まったく異なる方法で R2 を実装している国と地域が数多く存在します。シスコシステムズでは、この問題に対処するため、Cisco IOS ソフトウェアにおいて R2 シグナリングのローカライズされた実装を数多くサポートしています。

シスコシステムズの E1 R2 シグナリングのデフォルトは ITU です。ITU は、デンマーク、フィンランド、ドイツ、ロシア (ITU バリエーション)、香港 (ITU バリエーション)、および南アフリカ (ITU バリエーション) の各国をサポートしています。「ITU バリエーション」という表現は、指定の国に複数の R2 シグナリング タイプが存在することを意味します。ただし、シスコでは ITU バリエーションをサポートしています。

また、シスコシステムズでは、次の国、地域、および企業における E1 R2 シグナリングの特定のローカル バリエーションもサポートしています。

- アルゼンチン
- オーストラリア
- ボリビア
- ブラジル
- ブルガリア
- 中国
- コロンビア
- コスタリカ
- 東欧 (クロアチア、ロシア、およびスロバキア共和国など)
- エクアドル (ITU)
- エクアドル (LME)
- ギリシャ

- グアテマラ
- 香港（中国のバリエーションを使用）
- インドネシア
- イスラエル
- 韓国
- ラオス
- マレーシア
- マルタ
- ニューージーランド
- パラグアイ
- ペルー
- フィリピン
- サウジアラビア
- シンガポール
- 南アフリカ（Panafel のバリエーション）
- Telmex 社（メキシコ）
- Telnor 社（メキシコ）
- タイ
- ウルグアイ
- ベネズエラ
- ベトナム

欧州の日付形式

Cisco IP Phone のディスプレイの日付形式には、次の 2 つの追加形式を設定できます。

- yy-mm-dd (year-month-day)
- yy-dd-mm (year-day-month)

設定については、[P.62 の「IP Phone のクロック、日付、および時刻の形式の設定」](#)を参照してください。

二重回線モードのハントストップ

huntstop コマンドには、新しいキーワードが追加されています。**channel** キーワードを使用すると、プライマリ回線が通話中または無応答の場合に、二重回線設定におけるセカンダリ チャネルのハンティングがスキップされます。

設定については、[P.89 の「ダイヤル ピアとチャネルのハンティングの設定」](#)を参照してください。

フラッシュ ファイルからのマルチキャスト用の Music On Hold

Cisco SRST は、Music On Hold (MOH) をフラッシュ メモリ内のフラッシュ MOH ファイルから連続的にマルチキャスト出力することをサポートするように設定できます。

詳細については、[P.113 の「XML API スキーマの定義」](#)を参照してください。

呼び出しタイムアウトのデフォルト

呼び出しタイムアウトのデフォルトは、無応答時の自動転送が有効になっていない内線番号に対して設定できます。タイムアウトが発生すると、着信コールが発信者に接続解除コードを返します。このメカニズムにより、自動転送と接続解除を監視しない Foreign Exchange Office (FXO) などのインターフェイスを介して受信された着信コールが呼び出し中のままになることが防止されます。詳細については、P.91 の「呼び出しタイムアウトのデフォルトの設定」を参照してください。

第 2 発信音

第 2 発信音は、Cisco SRST を実行している Cisco Unified IP Phone で使用できます。第 2 発信音が生成されるのは、ユーザが定義済みの PSTN アクセス プレフィックスをダイヤルしたときです。たとえば、外線に接続するために指定番号を押すと、別のダイヤルトーンが聞こえます。

第 2 発信音を作成するには、secondary-dialtone コマンドを使用します。詳細については、P.66 の「第 2 発信音の設定」を参照してください。

show ephone コマンドの機能拡張

show ephone コマンドは、次の情報を表示するように拡張されています。

- 追加の電話機の設定およびステータス（新しいキーワード：7905、7914、7935、ATA）
- 1 つ以上の DN で Call-Forwarding All (CFA) 機能が有効になっているすべての電話機のステータス（新しいキーワード：cfa）

詳細については、『Cisco Unified SRST and Cisco Unified SIP SRST Command Reference (All Versions)』に記載されている show ephone コマンドを参照してください。このドキュメントは、次の URL から入手可能です。http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cusrst/command/reference/srstcr.html

電話機の登録に関するシステム ログ メッセージ

電話機が Cisco SRST に対して登録または登録解除された場合は必ず、システム ログに診断メッセージが追加されます。

3 者間の G.711 Ad Hoc 会議

Cisco SRST は、G.711 符号化技術を使用した 3 者間の Ad Hoc 会議をサポートしています。会議を使用できるようにするには、IP Phone の 1 つ以上のボタンに 2 つ以上の回線を接続する必要があります。

詳細については、P.112 の「3 者間 G.711 Ad Hoc 会議の有効化」を参照してください。

Cisco VG248 Analog Phone Gateway バージョン 1.2(1) 以降のバージョンのサポート

Cisco VG248 Analog Phone Gateway は、Cisco AVVID (Architecture for Voice, Video and Integrated Data) によって実現された混合環境ソリューションです。このソリューションを使用すると、企業は、従来のアナログ デバイスをサポートする一方で、IP テレフォニーを使用して得られる新たな機会を活用することができます。Cisco VG248 は、Cisco Unified Communications Manager をベースにした企業の音声システムにおいてアナログ電話機、FAX マシン、モデム、ボイスメール システム、およびスピーカフォンを使用するための高密度ゲートウェイです。

Cisco Unified Communications Manager のフォールバック中、Cisco SRST は Cisco VG248 を Cisco Unified IP Phone のグループと見なします。Cisco Unified SRST は、Cisco VG248 の 48 個のポートそれぞれを個別の Cisco Unified IP Phone と見なします。Cisco VG248 バージョン 1.2(1) 以降のバージョンのサポートは、Cisco Unified SRST バージョン 2.1 でも利用できます。

詳細については、『[Cisco VG248 Analog Phone Gateway Data Sheet](#)』および『[Cisco VG248 Analog Phone Gateway Version 1.2\(1\) Release Notes](#)』を参照してください。

Cisco SRST V2.1 の新機能

Cisco SRST V2.1 には、次の項で説明する新機能が導入されています。

- [IP Phone のディスプレイに対する追加の言語オプション \(P.19\)](#)
- [Cisco SRST の集約 \(P.20\)](#)
- [Cisco ATA 186 および ATA 188 のサポート \(P.20\)](#)
- [Cisco Unified IP Phone 7902G のサポート \(P.20\)](#)
- [Cisco Unified IP Phone 7905G のサポート \(P.20\)](#)
- [Cisco Unified IP Phone 7912G のサポート \(P.20\)](#)
- [Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュールのサポート \(P.21\)](#)
- [dialplan-pattern コマンドの機能拡張 \(P.21\)](#)



(注)

Cisco Unified IP Phone については、[Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ マニュアル](#)を参照してください。

IP Phone のディスプレイに対する追加の言語オプション

Cisco Unified IP Phone 7940G および Cisco Unified IP Phone 7960G のディスプレイには、次の各国に対応する ISO-3166 コードを設定できます。

- フランス
- ドイツ
- イタリア
- ポルトガル
- スペイン
- 米国



(注)

この機能が使用可能になるのは、Cisco SRST が Cisco Unified Communications Manager V3.2 の下で動作している場合のみです。

設定については、[P.63](#) の「[IP Phone の言語表示の設定](#)」を参照してください。

Cisco SRST の集約

Cisco Unified Communications Manager 3.3(2) 以降を実行するシステムでは、デフォルト ゲートウェイ上で Cisco SRST を実行する際の制限がなくなりました。複数の SRST ルータを使用して、追加の電話機をサポートすることができます。コール転送と自動転送を正しく機能させるには、ダイヤルピアとダイヤルプランを慎重に計画し、設定する必要があります。

Cisco ATA 186 および ATA 188 のサポート

Cisco ATA アナログ電話アダプタは、受話器とイーサネット間のアダプタで、このアダプタを使用すると、標準のアナログ電話機を IP ベースのテレフォニー ネットワーク上で動作させることができます。Cisco ATA は、別々の電話番号が割り当てられた 2 つの音声ポートをサポートしています。Cisco ATA 188 には、RJ-45 10/100BASE-T データ ポートも搭載されています。Cisco SRST は、音声コールに対して、Skinny Client Control Protocol (SCCP) を使用した Cisco ATA 186 および Cisco ATA 188 のみをサポートしています。

Cisco Unified IP Phone 7902G のサポート

Cisco Unified IP Phone 7902G は、エントリレベルの IP Phone であり、ロビー、研究室、製造フロア、および通路など、基本的なコール機能だけが求められるエリアでの音声通信ニーズに対応しています。

この電話機は、リダイヤル、コール転送、会議、およびボイスメールアクセスの各機能にワンタッチでアクセスできる固定の機能キーを備えた単一回線 IP Phone です。他の Cisco IP Phone と同様に、Cisco Unified IP Phone 7902G もインラインパワーをサポートしています。インラインパワーを使用すると、電話機が LAN 経由で電力を受信できるようになります。この機能により、ネットワーク管理者は電力を集中制御できるため、ネットワークのオペラビリティが向上します。

Cisco Unified IP Phone 7905G のサポート

Cisco Unified IP Phone 7905G は、中核的なビジネス機能を備えた基本的な IP Phone です。この電話機は、単一回線へのアクセスを提供するほか、ピクセルベースの Liquid Crystal Display (LCD; 液晶ディスプレイ) を通してユーザにコール機能の操作方法を案内する 4 つの対話型ソフトキーを備えています。将来のファームウェア リリースでは、ディスプレイのグラフィック機能によって、コール情報を表示したり、機能に直感的にアクセスしたり、言語をローカライズしたりできるようになります。Cisco Unified IP Phone 7905G は、インラインパワーをサポートしています。インラインパワーを使用すると、電話機が LAN 経由で電力を受信できるようになります。

設定を行う必要はありません。

Cisco Unified IP Phone 7912G のサポート

Cisco Unified IP Phone 7912G は、中核的なビジネス機能を備えており、利用する電話トラフィック量が中程度までのパーティション内作業者に対応しています。4 つの動的なソフトキーを使用して、各種のコール機能にアクセスすることができます。グラフィック ディスプレイでは、コール情報を表示することや、機能にアクセスすることができます。

Cisco Unified IP Phone 7912G は、統合イーサネット スイッチをサポートし、ローカル PC への LAN 接続を提供します。また、この電話機は、インラインパワーをサポートしています。インラインパワーを使用すると、電話機が LAN 経由で電力を受信できるようになります。この機能により、ネットワーク管理者は電力を集中制御できるため、ネットワークのオペラビリティが向上します。インラインパワーとイーサネット スイッチのサポートを組み合わせることで、必要なケーブル配線を減らして、デスクトップへのワイヤ 1 本だけで済ませることができます。

Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュールのサポート

Cisco Unified IP Phone 7914 拡張モジュールは、Cisco Unified IP Phone 7960G に接続され、電話機に 14 のラインアピアランスまたは短縮ダイヤル番号を追加します。IP Phone には拡張モジュールを 2 つまで接続できます。拡張モジュールを 2 つ使用すると、28 のラインアピアランスまたは短縮ダイヤル番号が追加され、合計で 34 のラインアピアランスまたは短縮ダイヤル番号が使用可能になります。

dialplan-pattern コマンドの機能拡張

dialplan-pattern コマンドには、新しいキーワードが追加されています。**extension-pattern** キーワードは、内線番号の先頭番号が、*pattern* 変数で定義された E.164 電話番号の先頭番号と異なる場合に、内線番号の先頭番号のパターンを設定します。この拡張により、IP Phone の省略された内線番号のプレフィックス番号を操作できるようになります。『*Cisco Unified SRST and Cisco Unified SIP SRST Command Reference (All Versions)*』に記載されている **dialplan-pattern** コマンドを参照してください。このドキュメントは、次の URL から入手可能です。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cusrst/command/reference/srstcr.html

Cisco SRST V2.02 の新機能

Cisco SRST バージョン 2.02 には、次の項で説明する新機能が導入されています。

- Cisco Unified IP Phone Conference Station 7935 のサポート (P.21)
- 電話番号の増加 (P.22)
- PSTN および BRI/PRI を介してインバンド DTMF シグナリングを使用した Cisco Unity ボイスメール統合 (P.22)

Cisco Unified IP Phone Conference Station 7935 のサポート

Cisco IP Conference Station 7935 は、IP ベースの全二重方式でハンドフリーの電話会議用端末で、デスクトップやオフィス、および中小規模の会議室で使用されます。このデバイスは、シンプルな RJ-45 接続によって Cisco Catalyst 10/100 イーサネット スイッチ ポートに接続され、DHCP を介して IP ネットワークにデバイス自体が動的に設定されます。Cisco 7935 をイーサネット スイッチ ポートに接続する作業を除き、管理作業を行う必要はありません。Cisco 7935 は、接続サービスのために Cisco Unified Communications Manager に動的に登録して、適切なエンドポイント電話番号のほか、Cisco Unified Communications Manager に組み込まれているソフトウェア拡張機能や個人用設定をすべて受信します。

Cisco Unified IP Phone 7935 は、ユーザにコール機能の操作方法を案内する 3 つのソフトキーとメニューナビゲーションキーを備えています。また、この電話機はピクセルベースの LCD ディスプレイも備えています。ディスプレイには、日付と時刻、発信側の名前、発信側の番号、ダイヤルされた番号、機能、および回線状況などが表示されます。

設定を行う必要はありません。

電話番号の増加

表 3 に示すとおり、ルータの電話番号が増えました。

表 3 Cisco IOS Release 12.2(11)T における電話番号の増加

| Cisco ルータ | 電話機の最大数 | 電話番号の最大数の増加 | |
|--------------|---------|-------------|---------|
| | | 以前のリリース | 新しいリリース |
| Cisco 1751 | 24 | 96 | 120 |
| Cisco 1760 | 24 | 96 | 120 |
| Cisco 2600XM | 24 | 96 | 120 |
| Cisco 2691 | 72 | 216 | 288 |
| Cisco 3640 | 72 | 216 | 288 |
| Cisco 3660 | 240 | 720 | 960 |
| Cisco 3725 | 144 | 432 | 576 |
| Cisco 3745 | 240 | 720 | 960 |

PSTN および BRI/PRI を介してインバンド DTMF シグナリングを使用した Cisco Unity ボイスメール統合

Cisco Unity ボイスメールや他のボイスメールを Cisco SRST と統合することができます。ボイスメール統合には、次の 6 つの新しいコマンドが導入されています。

- [pattern direct](#)
- [pattern ext-to-ext busy](#)
- [pattern ext-to-ext no-answer](#)
- [pattern trunk-to-ext busy](#)
- [pattern trunk-to-ext no-answer](#)
- [vm-integration](#)

関連情報

コマンドの詳細については、『*Cisco Unified SRST and Cisco Unified SIP SRST Command Reference (All Versions)*』および P.193 の「Cisco Unified SRST へのボイスメールの統合」を参照してください。

Cisco Unified SRST の監視および保守については、P.227 の「Cisco Unified SRST の監視と保守」に進んでください。

追加情報については、P.25 の「Cisco Unified SRST の概要」の P.40 の「その他の資料」を参照してください。

P.25 の「Cisco Unified SRST の概要」に進みます。

